**生理学講座統合生理学分野**

**教育・研究及び管理運営等に関するアンケート**

候補者 現職

 氏名

**以下の項目について記載してください。用紙はA4版で作成願います。**

**１．医学教育**

１）学生（大学院生を含む）に対する講義・実習等の経験について、下表に記載してください。

【学部】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **授業科目名** | **学部・学科・学年** | **授業コマ数****（授業時間、分）** | **区分** | **担当年数** |
| **例）生理学** | **医学部医学科１年** | **3（90）** | **講義** | **6** |
| **例）生理学実験** | **医学部生命科学科２年** | **5（60）** | **実習** | **2** |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

【大学院】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **授業科目名** | **研究科・専攻等** | **授業コマ数** | **区分** | **担当年数** |
| **例）生理学特論** | **医学系研究科博士課程医学専攻** | **4** | **講義** | **3** |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

２）基礎医学教育および基礎と臨床の統合教育に関して、これまで試みてこられた工夫がありましたら、内容と成果等について記載してください。

　３）これまで実施してこられた教育（講義・実習）に関して、学生や第三者から評価を受けた経験がありましたら結果を記載してください。

４）医学教育におけるアクティブラーニングの重要性が叫ばれています。授業にアクティブラーニングを導入している実績がありましたら記載してください。経験がない場合は、今後の取り組みについてお考えをご記載ください。

５）コロナ禍で行ってきた教育の工夫がありましたら記載してください。

６）研究マインドを持たない医師が増えており、将来の日本の医学・医療のレベル低下に結びつくことが危惧されています。医学教育の中で研究マインドを醸成するための方策等についてお考えがあれば記載してください。

７）優秀な臨床医を育成するために、生理学の教員としてどのような取り組みを行うべきか、お考えをご記載ください。

８）大学院教育においてこれまで試みてこられた工夫がありましたら、内容と成果等について記載してください。

９）学生に対する評価では、知識以外に技能や態度の評価も重要です。しかし、技能・態度の客観的評価は容易でありません。客観性を持たせるための具体策についてお考えがあれば記載してください。

１０）医学教育の分野別評価基準日本版（世界医学教育連盟グローバルスタンダード2015版準拠）に沿った教育プログラムの見直しが各大学で進んでいます。基礎医学分野として、今後どのように取り組んでいくべきか、お考えをお聞かせください。

**２．研究**

１）生理学研究において、ご自身の代表的な業績について600字以内でわかりやすく記載してください。

２）教室員その他に対する研究指導実績（教室員名、指導期間、指導内容、学位取得の有無など）について具体的に記載して下さい。

３）学内における専門的研究グループの指導的位置にあるとすれば、その名称と年数を記載してください。

４）他施設との共同研究の実績（研究グループを結成しているなら、その名称、役割および年数）を記載してください。

５）橋渡し研究に携われた経験がありましたら、具体的に記載してください。

６）提出いただいている研究業績目録の中で、Web of Scienceによる被引用回数の多い順に10編の原著論文（論文の記載様式は研究業績目録と同様で、筆者名、雑誌名なども記載）とその被引用回数を以下に記載してください。

**３．大学・施設の管理運営**

１）大学・施設内における役職、各種委員の名称と年数を下表に記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| **役職名** | **年数** |
| **例）教育委員会委員** | **2年** |
|  |  |
|  |  |

２）管理・運営関係以外で特記すべき役職経験があれば記載してください。

３）本学に赴任された場合の教室運営の抱負についてお教えください。

４）生理学講座には適応生理学分野があります。同分野の教育・研究・管理運営との関係についてお考えがあれば記載してください。

**４．その他参考となる事項**

これまでに査読した論文の雑誌名などを記載してください。（履歴書および研究業績目録の記載内容との重複は避けてください。）

**５．お知らせ**

統合生理学分野は、適応生理学分野とともに生理学講座を構成しています。教授に就任されましたら、医学部の教育として統合生理学が担当してきた下記の講義・実習をお願いすることになります。

|  |  |
| --- | --- |
| **統合生理学分野　担当授業科目抜粋** |  |
| **授業科目名** | **学年（医：医学科　生：生命科学科）** | **授業コマ数** | **区分** |
| **基礎運動器学** | **医１** | **2** | **講義** |
| **基礎医学体験** | **医１** | **19** | **実習** |
| **細胞生理学** | **医１・生２（合同講義）** | **18** | **講義** |
| **基礎医学実習** | **医２** | **45** | **実習** |
| **基礎医学特論** | **医２** | **2** | **講義** |
| **基礎循環器学** | **医２** | **3** | **講義** |
| **基礎感覚器学** | **医２** | **1** | **講義** |
| **基礎神経学** | **医２** | **2** | **講義** |
| **基礎内分泌・代謝学** | **医２** | **7** | **講義** |
| **研究室配属** | **医３** | **76** | **実習** |
| **ゲノム医工学** | **生３** | **1** | **講義** |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（１コマ当たり90分）